

学会記事

日本鉱物科学会 平成25年度 第2回定例評議員会議事録

日時：平成26年4月30日(水)18：45～20：30

会場：パシフィコ横浜会議センター3階314

評議員会メンバー

出席者：会長：村上 隆， 副会長：小山内康人

評議員：大和田正明， 河上哲生， 川本竜彦， 平賀岳彦， 宮脇律郎，
柳澤教雄， 吉朝 朗， 赤坂正秀， 榎並正樹， 片山郁夫，
木村純一， 土山 明， 奥山康子， 大藤弘明， 角替敏昭，
鍵 裕之， 佐藤 努， 伴 雅雄， 平島崇男 (19名)

委任状：安東淳一， 池田 剛， 小澤一仁， 廣井美邦， 本間 寿，
宮嶋 敏， 森下知晃， 坂本尚義 (8名)

欠席者：石渡 明， 土屋範芳， 宮島 宏 (3名)

幹事会メンバー

出席者：会長：村上 隆， 副会長：小山内康人， 庶務幹事：永井
隆哉， 会員幹事：佐藤 努， 会計幹事：中村美千彦， 行事
幹事：黒澤正紀， 和文誌編集幹事：赤坂正秀， 英文誌編集
幹事：平島崇男， 渉外幹事：井上徹， 広報幹事：伴雅雄，
Elements幹事：井上徹， 特務幹事(会則・内規検討担当)：
小暮敏博， 特務幹事(会員増対策担当)：片山郁夫， 特務幹
事(対外雑誌担当)：大谷栄治， 特務幹事(法人化対策担当)：
土山明， 会計監査委員：後藤章夫， 三鉱連絡委員：永井
隆哉， 大和田正明， 選挙管理委員会：鈴木庸平， 地球惑星
科学連合2014年度学会選出プログラム委員：角替敏昭(副)，
地惑連合連絡担当：大谷栄治， 黒澤正紀

各種委員会委員長

出席者：行事委員会委員長：黒澤正紀幹事， GKK編集委員会委員長：
赤坂正秀幹事， JMPS編集委員会委員長：平島崇男幹事，
渉外委員会委員長：井上 徹幹事， 広報委員会委員長：伴雅
雄幹事， Elements委員会委員長：井上幹事， 将来企画委員会
委員長：小山内副会長， 教育普及委員会 委員長：奥山康子，
新鉱物・命名・分類委員会委員長：宮脇律郎， 博物館委員
会委員長：坂野靖行， 2014年年会LOC委員長：西山忠男
(代理磯部博志)

各賞選考委員会委員長

出席者：日本鉱物科学会賞選考委員会委員長：鍵 裕之， 渡邊萬次
郎賞選考委員会委員長：石渡 明(代理吉朝朗副委員長)，
日本鉱物学会論文賞選考委員会委員長：片山郁夫， 日本鉱
物科学会研究奨励賞選考委員会委員長：角替敏昭， 日本鉱
物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員長：赤坂正秀，
櫻井賞選考委員会委員長：松原 聡(代理宮脇律郎)， 会長・
副会長候補者推薦委員会委員長：榎並正樹

会議に先立ち、会長より書記として木村純一会員が指名され、満場
一致で承認された。

議題

1. 報告事項

1. 会員報告と入会承認 (佐藤会員幹事)

平成25年度第1回評議員会以降の会員動静について報告があっ
た。物故会員2名(永年会員2名)，退会(シニア会員3名，一般正会員
2名，学生正会員3名，購読会員3件)，入会(賛助会員1件，学生正
会員3名)，除名会員4名(一般正会員2名，シニア会員2名)，不明会員
3名(一般正会員3名)である。平成26年4月30日現在，一般正会員677
名，シニア会員138名，学生正会員95名，永年会員38名，名誉会員6
名で会員数計954名となった。賛助会員(11件)，購読会員等を含む団
体登録は169件で総数は1123件である。

2. 広報報告(伴広報幹事)

広報活動について以下の報告があった。

1) 広報委員会委員の主な役割の分担は昨年度と同様(橋委員：将

来計画委員会との連絡，鈴木委員：ホームページ，亀井委員と奥
村委員：学会でのブース)。

2) 会員へのML送信を実施した(2013年は43件，2014年は現在まで
に14件)。内容は，学会事務連絡，公募案内，関連学会案内など。

3) 連合大会の鉱物科学会ブース展示対応を行った。

1. 学会発行の科学雑誌，年会，表彰，入会案内，2. 学会会員の
執筆した書籍の展示・紹介，3. 会員に配布されている
“Elements”の紹介ポスター，4. 「一家に1枚：鉱物-地球と宇
宙の宝物」ポスターの紹介，5. スタンプラリーに参加。

4) 連合学会トップページに学会のロゴマークを掲載した。

5) 学会HPの改訂を行った(トップページの鉱物写真を複数枚に
し，また世界結晶年のリンクも加えたこと，メール配信依頼につ
いて，依頼から配信までに半月ほどはかかる旨を掲載したこと
など)。

3. 渉外報告(井上渉外幹事)

渉外活動については以下の報告があった。

2012日本地球惑星科学連合大会(2012JpGU)から始めた鉱物科
学会ブースにおける「本学会会員執筆書籍の展示」は，日本鉱物科
学会2013年年会，及び今回の2014JpGUへと引き続き行われている。
尚，前回の日本鉱物科学会2013年年会までに献本，展示された本は
21冊で，それらに加えて2014JpGUでは新たに4冊(2冊献本，2冊返却)
が展示された。

4. 和文誌(GKK)編集報告(赤坂和文誌編集幹事)

GKKの編集状況について以下の報告があった。

- 平成26年4月23日現在，岩石鉱物科学42巻5号(9月号)～43巻2号
(3月号)計4号が発行され，掲載件数頁数は以下の通り。
原著論文2件17p，総説3件40p，資料・解説7件49p，新刊紹介2件1.25p，
ニュース(他学会案内，教官公募等)0.5p，投稿規定6p，学会記事
(評議員会・総会議事録)23.25p，年会案内8p，総目次2p，広告8件
4p，白頁1p，4号合計152p，1号平均頁38p。
- 印刷状況：43巻3号(5月号)特集号その1：2論文(2編印刷中)。現
在査読中論文：11編(特集号7編含む)，受理論文0編。
- 特集号「日本の花崗岩とテクトニクス」報告：投稿論文9編，査
読中7編，印刷中2編。今後受理順に印刷頁を検討しながら発行予
定。

5. 英文誌(JMPS)編集報告(平島英文誌編集幹事)

JMPSの編集状況について以下の報告があった。

平成26年4月29日(火)13:00-14:00にJMPS編集委員会を開催し，下
記について報告された。

報告事項

- JMPS状況報告：JMPS108巻5号(10月号)～109巻2号(4月号)計4号が
発行され，掲載件数頁数は以下の通り。Articles 12件134p，Letters
16件88p，Editorial 1p，投稿規程3p，Index 4p，Contents 4p，白頁2p，
4号分合計頁236p，1号平均頁59p。今後の発行状況：109巻3号(6月
号)原著論文4編(2編早期公開，2編校正中)，Letter1編(印刷中)108
巻4号(8月号)未定。
- 2013年9月8日以降2014年4月22日までの投稿数26編についての投
稿内容は通常投稿15編(うち海外6編)，年会Letter11編で，編集状
況は受理12編，reject 6編，査読中5編，返却中3編である。
- 2012 JMPS Impact Factorは0.589である。(= Cites to recent items43
編/Number of recent items73編)
- 電子ジャーナル全文PDFアクセス状況について2014年3月2484件，
2013年12月2471件，2013年9月3211件，2013年4月2704件で，主な国
はアメリカ合衆国，日本，中国，オランダ，ドイツ，インド，カナ
ダ，フランス，イギリス，ロシアなどと報告があった。
- 投稿論文の引用文献の不備について，最近，原稿の印刷段階に
なってから，引用漏れや削除し忘れが発見される例が相次いでい
るので著者の責任で遺漏の無い用に十分に検討し，特に指導教員
は学生の投稿論文を確認するよう注意があった。
- 2014連合大会講演を対象にLetterを募集中：投稿申込締切日：2014
年5月13日(火)締切日厳守
- 若手に限定した論文賞の内規案報告

- 8) 特集号企画の件, 1) 企画内容紹介 2) 招待外国人著者のページチャージについて(将来企画委員会, 評議員会で審議)
- 審議事項
- 1) 若手に限定した論文賞の内規案について審議された。
 - 2) 英文校閲を受けた原稿が投稿された場合のインセンティブについて: 頁チャージ割引クーポンの提案が審議された。
6. 庶務報告 (永井庶務幹事)
1. 評議員会関連
- 2013年 9月30日メールJAMS各賞委員会委員選挙投票依頼
2013年10月18日メール JAMS評議員会審議ニ平成24年度各賞選考委員投票結果報告
2013年11月17日メール「会長・副会長候補者推薦委員会」委員選出投票依頼
2013年11月25日メール「会長・副会長候補者推薦委員会」委員選出投票結果報告
2013年12月 2日メール Elements 委員会委員の評議員会承認のための電子メール臨時評議員会開催の提案
2013年12月 7日メール 電子メール臨時評議員会 Elements幹事交代報告とElements委員会委員の承認依頼
2013年12月10日メール 平成24年度第3回評議員会議事録(案)確認依頼
2013年12月13日メール 平成24年度総会記事(案)確認依頼
2013年12月16日メール 平成24年度第1回評議員会議事録(案)確認依頼
2014年 1月16日メール世界結晶年2014について提案依頼
2014年 3月17日メール 日本鉱物科学会第1回幹事会第2回評議員会開催日時お知らせ
2014年 3月25日メール第5回平成26年度日本学術振興会育志賞受賞候補者推薦依頼
2014年 3月25日メール次期会長・副会長候補者推薦の件(複並推薦委員会委員長)
2014年 4月 7日メール第1回幹事会・第2回評議員会お知らせと出欠返事依頼
2. 連合への対応
- 2013年10月 3日 日本地球惑星科学連合2014年大会学会エリア出展, スタンプラリー参加申込み
2013年10月18日 日本地球惑星科学連合第9回学協会長会議開催出席 (村上会長)
2013年10月24日 日本地球惑星科学連合代議員選挙投票お願い
2013年11月 1日 日本地球惑星科学連合はAGU Fall Meeting2013にブース出展へのJMPS送付承諾
2014年 3月20日 2014年連合大会への展示学会紹介メールニュース掲載, 大会トップページロゴ掲載
2014年 5月 1日 日本地球惑星科学連合 第10回学協会長会議開催出席 (村上会長)
2014年 5月 1日 平成26年度定時社員総会 (中村美千彦代理出席)
3. 後援(0件), 共催(3件), 協賛 (8件) 報告
4. 会員への連絡
- 2013年10月11日メール第6回地学オリンピック申込受付開始案内
2013年10月23日メール世界結晶年 (IYCr2014) オープニングシンポジウム案内
2014年 2月10日メール日本鉱物科学会次期会長, 副会長, 評議員候補者の推薦についてお知らせ
2014年 2月10日メール 日本鉱物科学会平成25年度各賞受賞候補者募集推薦のお知らせ
2014年 2月26日メール 日本鉱物科学会2014年年会スペシャルセッション公募のお知らせ
2013年 3月10日メール JpGU 2014連合大会学会ブースでの会員執筆書籍の展示申込案内
5. その他
- 1) 2013年10月22日 学術会議公開シンポジウム:一学協会の新公益法人法への対応の現状と展望-(小山内副会長出席)
 - 2) 2014年 1月14日 ゴールドシュミット会議2016共催承諾書提出
 - 3) 2014年 1月27日 「日本の結晶学II—その輝かしい発展—」(仮称)へ村上会長執筆
 - 4) 2014年 4月 2日 事務局ノートパソコンWindows XP終了のため買い替え
 - 5) 2014年 4月10日 法人化問題について専門の公認会計事務所(東京)で説明受ける(会長, 副会長, 会計幹事, 事務員出席)
7. 行事・年会報告 (黒澤行事幹事, 西山忠男2014LOC委員長代理磯部委員)
- 1) 日本地球惑星科学連合2014年大会
日程: 2014年4月28日(月)~5月2日(金)
会場: パシフィコ横浜会議センター
 - 2) 日本鉱物科学会 2014年年会・総会 (開催案内は岩石鉱物科学43巻2号(3月号)へ掲載し学会HP年会WEBサイトに公開中)
日程: 2014年9月17日(水)~19日(金)
会場: 熊本大学黒髪北キャンパス構内 全学教育棟
内容: 「スペシャルセッション」2種, 「レギュラーセッション」8種
講演申込期間: 6月21日(土)9時~7月9日(日)17時 (WEBサイト)なお, LOCから世界結晶年のスペシャルセッションをとりこんで実施すること, 同時開催 (1日オーバーラップ) の資源素材学会については発表以外の聴講は可とすることが報告された。
8. Elements報告 (井上Elements幹事, 村上会長)
Elementsの編集体制及び原稿について以下の報告があった。
- 1) Elements Society News報告(井上Society News Editor)
以下の記事はJAMS Society Newsとして編集しElementsに投稿した。2014年
- No.1 (2月号)
1. Traveling Exhibition of the Kitagawa Mineral Collection
 2. Invitation to the Japan Geoscience Union Meeting 2014
 3. Invitation to Asia Oceania Geosciences Society (AOGS) 11th Annual Meeting 2014 in Sapporo
4. JMPS Vol. 108 no. 6, December 2013目次
- No.2 (4月号)
1. Discovery of a new tourmaline, “adachiite”
 2. JMPS Vol. 109 no. 1, February, 2014目次
- No.3 (6月号)
1. New national Joint Usage/Research Center “Premier Research Institute for Ultrahigh-pressure Sciences (PRIUS)” at GRC, Ehime University
 2. JMPS Vol. 109 no. 2, April, 2014目次
- 2) Executive Committee Member 報告 (村上会長)
Principal & Managing Editorsの後任の選考中である。
9. 会計報告 (中村会計幹事)
日本鉱物科学会平成25年度一般会計中間報告など以下の2点の報告が行われた。
- 1) 平成25年度一般会計中間報告 (平成25年9月1日~平成26年4月24日)
 - 2) 2013年年会会計決算報告 (決算書は岩石鉱物科学43巻1号40頁に掲載。)
10. 会計監査報告 (後藤会計監査委員)
2013年年会会計決算監査報告の内部監査報告が示され, 適切に処理されている旨報告があった。
11. 将来企画委員会報告 (小山内委員長, 土山特務幹事)
- 1) 法人化について
4月30日13:00-14:00に将来企画委員会が開催されその内容が以下のように報告された。
昨年8月の第1回法人化調査以降, 10月18日JpGU第9回学協会長会議で村上会長が他学会動向伺い, 10月22日に学術会議公開シンポジウム:一学協会の新公益法人法への対応の現状と展望一への小山内副会長に参加, そして2014年4月10日に法人化問題について専門公認会計事務所(東京)で説明受けたことをもとに, 1) 任意団体から一般社団法人化する事のメリット, 2) 法人化と税金, 3) 法人化する

場合の方法や検討事項などについての調査結果が報告された。

2) JMPS特集号での「招待外国人著者」のページチャージについて検討されたことが報告された。

1 2. 特務幹事(会員増対策担当)報告 (片山特務幹事)

昨年から継続審議となっていた若手研究者の支援について、1) 若手海外渡航支援制度に関する内規(案)、2) 学会参加費補助制度に関する内規(案)についての検討案が報告された。

1 3. 地球惑星科学連合報告 (大谷連絡担当)

1) 次期(2014-2016)の体制が決定、2) 連合のフェロー制度を創設、3) 連合の委員会の組織が変更、4) 連合25周年記念の紹介パンフレットを印刷などが報告された。

1 4. 特務幹事(対外雑誌担当)報告 (大谷特務幹事)

高いIPを目指し、JSPSから5年間の補助がされた連合のジャーナル(オープンアクセス、シュプリングーから) Progress in Earth and Planetary Scienceの巻一巻が発行されたことなどが報告された。

1 5. 学術会議の報告 (大谷学術会議連携委員)

1) 地球惑星科学の大型研究が採択されたこと、2) 地球惑星科学の参照基準(大学で教えるべき地球惑星科学の内容の基準)最終版が4月に完成、3) IMAへの代表派遣が認められ、坂野会員が南アフリカIMA2016に出席しM&Mの日本への招致を行う予定、4) 23期の会員および連携会員の選出が行われ本年9月から新たな体制になることなどが報告された。

1 6. 三鉱連絡会報告 (大和田連絡会委員)

1) 三鉱名簿はweb上で公開する。紙媒体は作成しない。(評議会です了承済み)。2) 閲覧は会員限定。パスワードを付す。3) ダウンロードやコピーができないなどのセキュリティをかける予定で、今後、セキュリティソフトや作業を検討して進めることが報告された。

1 7. 教育普及委員会報告 (奥山委員長)

・連合大会で宮嶋委員がコンピーナーを務めるセッション「次期学習指導要領における高校地学教育の在り方」(主催: JpGU教育問題検討委員会)を開催(4月29日)。
・13年12月から14年3月の期間、委員による普及活動を強力に行う機会があり、ポスターも使用して鉱物・岩石の科学をアピールした(八峰白神ジオパーク関連で3件、高校地学セミナー1件)。

1 8. 会長・副会長候補者推薦委員会報告 (榎並委員長)

会長候補者として小山内康人会員、副会長候補者として土山明会員と平島崇男会員から承諾を得たことが報告された。

1 9. 選挙管理委員報告 (鈴木選挙管理委員)

当評議会までの候補者推薦締め切りにおいて、次年度評議員候補者は27名となったこと、会長・副会長選挙と共に、選挙期間は7月1日~7月31日に選挙内規通り指定のWEBサイトまたは郵送による投票を行うとの報告がなされた。

2 0. その他

(1) 博物館委員会報告 (坂野委員長)

1) 北川隆司鉱物コレクション巡回展継続の報告 2) 国際会議M&M2016年日本招致については、2013年10月にIMA-CM新委員長宛に招致提案書をメールで送付済み。IMA2014期間中に開催されるIMA-CM business meetingにてM&M2016日本招致提案を行う予定との報告がなされた。

(2) 2016年Goldschmidt日本開催の件 (鍵評議員)

4月29日に開催された関連会議について以下の報告があった。JpGUとJAMSは共催学会としてディスカウント料金で参加できること、国際セッション作りの段階で協力を要請されたことが報告され、当学会として積極的に関与する事が確認された。

(3) JMPS若手対象論文賞内規(案)報告 (平島JMPS編集委員長)

JMPS編集委員会が審議された学生正会員に限定した「JMPS学生

論文賞」(インセンティブ: 1年間会費無料)の内容と内規案骨子について以下のようにJMPS編集委員会が検討審議されたことが報告された。9月の評議員会には内規案を提出する予定。

内規案骨子:

- ・本会に日本鉱物科学会JMPS学生論文賞(以下、本賞)を設ける。主著者が在学中または卒業・修了後6ヶ月以内にJMPS誌に投稿した論文(article, letter)を対象とし、鉱物科学の発展に寄与した論文に対して贈呈する。過去あるいは同年に研究奨励賞・論文賞を受けた会員も受賞できることとする。同一人物に対する本賞の授与は回数を制限しない。
- ・受賞年の年初から遡って2ヶ年以内にJMPSに印刷公表された論文とする。
- ・選考委員会をおき、委員はJMPS編集委員で本学会員とする。委員長はJMPS編集委員長。委員が候補者になった場合、委員を辞退する。
- ・選考は受賞対象論文のリストに基づき、委員会が受賞に値すると認めた原則2編以内の論文を選び、選考理由を添えて第2回定例評議会の日までに会長に報告する。
- ・会長は評議会に諮り、その承認を得て本賞受賞論文を決定する。
- ・総会において、賞状を贈呈する。また、受賞論文の主著者は受賞年度の会費を無料とする。
- ・英文名: Japan Association of Mineralogical Sciences JMPS Paper Award for Student Scientists

II. 承認事項

1. 会員承認 [入会(賛助会員1件含む): 佐藤幹事]

入会と除名について審議され、下記の通り承認された。

1) 入会の承認

以下の、賛助会員1件への質疑応答、学生正会員3名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。

賛助会員 (1件)

アイリス株式会社 茨城県ひたちなか市青葉町20-21

学生正会員 (3名)

会員氏名	在学先名学年(申込時)	指導教員名
山口 海	九州大学大学院理学府D1	上原誠一郎
森 祐紀	九州大学理学部地球惑星科学科B3	上原誠一郎
阿部健康	東北大学大学院理学研究科D2	中村美千彦

2) 除名の議決 (4名)

2. 平成25年度日本鉱物科学会賞受賞候補者報告と承認(鍵委員長)

報告された木村 真正会員、土屋 卓正会員を平成25年度日本鉱物科学会賞第11回と第12回の受賞者として承認した。

3. 平成25年度渡邊萬次郎賞受賞候補者報告と承認

(石渡委員長代理吉朝副委員長)

報告された蟹澤聰史会員を平成25年度渡邊萬次郎賞第30回受賞者として承認した。

4. 平成25年度日本鉱物科学会論文賞受賞候補論文報告と承認

(片山委員長)

報告された以下の2編を授賞論文として承認した。

平成25年度日本鉱物科学会第14回論文賞受賞候補論文

Title: Microstructural evolution of carbonaceous material during graphitization in the Gyoja-yama contact aureole: HRTEM, XRD and Raman spectroscopic study, JMPS(2013), 108-3, 131-143.

Authors: Yoshihiro NAKAMURA, Junji AKAI

[受賞者となる会員著者: 中村佳博, 赤井純治]

平成25年度日本鉱物科学会第15回論文賞受賞候補論文

Title: High-pressure garnet amphibolite from the Funaokayama unit, western Kii Peninsula and the extent of eclogite facies metamorphism in the Sanbagawa belt, JMPS(2013), 108-4, 189-200.

Authors: Shunsuke ENDO, Izabella NOWAK, Simon R. WALLIS

[受賞者となる会員著者: 遠藤俊祐, Simon R. WALLIS]

5. 平成25年度日本鉱物科学会研究奨励賞受賞候補者報告と承認
(角替委員長)

報告された佐久間 博会員、齊藤 哲会員、横山 正会員を平成25年度日本鉱物科学会第13回、第14回、第15回の受章者として承認した。

6. 日本鉱物科学会応用鉱物科学受賞候補者報告と承認
(赤坂委員長)

報告された門馬綱一会員を平成25年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第7回受賞者として承認した。

7. 平成25年度櫻井賞受賞候補者報告と承認
(松原委員長：代理宮脇委員)

報告された浜根大輔会員を平成25年度櫻井賞第41回受賞者として承認した。

8. 会長・副会長候補者推薦委員会と承認 (榎並委員長)

次年度会長候補者として小山内康人会員、副会長候補者として土山 明会員と平島崇男会員が承認された。

III. 審議事項

1. 法人化の件 (小山内委員長)

将来企画委員会で検討された資料を基に質疑応答がなされ、審議した結果、今後ワーキンググループを設置して、9月の評議員会、総会に向けて検討することが承認された。

2. JMPS関連

1) 特集号での「招待外国人著者」のJMPSページチャージについて
(小山内委員長)

審議の結果、特集号「単独著者の外国人招待著者」にはページチャージの負担を課さないことが承認された。但し、特集号ゲストエディターからJMPS編集委員長へ単独外国人招待著者(制限2,3編)について報告し、評議員会メール回議を経て承認された場合に限ることとなった。

2) 英文校閲を受けた原稿が投稿された場合のインセンティブについて: 頁チャージ割引クーポン(30%)の提案があり、審議の結果趣旨通り承認された。詳細についてはJMPS編集委員会で検討することとなった。

3. 会員増対策案の件 (片山特務幹事)

1) 学生正会員への海外渡航支援制度についてと2) 学生正会員への学会参加費補助制度について質疑応答がなされ、その審議内容を踏まえ9月の評議員会に最終案を提出することで承認された。

4. 年会開催地の件 (黒澤行事幹事)

1) 2015年年会開催地 (東京大学)の件
小暮評議員(東京大学)より日程の説明があり、平成27年(2015年)9月26日(金)~28日(日)(巡検なし)の提案があり承認された。

2) 2016年年会開催地の件
現在ではまだ調整が必要なので検討中。

5. その他

会員数増加のための一時的なキャンペーンとして施行案について
(佐藤会員幹事)

年会への非会員(一般5名位、学生30名位)参加者に対して、希望者を対象にElementsを1年間配布するキャンペーン案について審議の結果承認された。